交詢社第２火曜会御報告資料　　2020 年 12 月 8 日（火）
17:00 ～ 19:00

学ぶとは何か

―学ぶとは、人生を何回も生きるために学び続けること―

開倫塾
塾長　林明夫

１．はじめに

（１）国難ともいえるコロナ禍を切り抜け、コロナ後に備えるために学び続けること

（２）学ぶことの目的

①「人生の成功（a Successful Life）」―多様な選択肢のある人生を歩むこと―

②「正常に機能する社会（a Well － Functioning Society）の形成」に貢献すること
―「持続可能な社会」「2045 年の SDGs」を目指して

③「よく生きること」

（３）教育の３分野

①「家庭教育」	①「知育」
②「学校教育」	②「徳育」
③「社会教育」	③「体育」

２．これからの学力とは何か―「キ・ーコンピテンシーズ」、OECD の挑戦―

（１）「知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力」

（２）「多様な集団で交流する能力」

（３）「自律的に行動する能力」

＊以上の前提は

①「学習の学習（学び方を学ぶ）、Learning to learn」能力を身に着けていること

②「読書による思慮深さ（自省心・省察力）」を身に着けていること

③「学習の場（Learning space）」を身に着けていること

３．人生 100 年時代における生涯教育（Life Long Education）

（１）20 歳ごろまで「幼少期」

（２）20 歳ごろから「青年期」

（３）40 歳ごろから「壮年期」

（４）60 歳ごろから「初老期」

（５）80 歳ごろから「老年期」

＊人生 100 年時代の（2）～（5）の各時期に応じた教育

＊人生を３つの時期に分ける考えも

（１）0 歳から 35 歳まで（幼年・少年・青年期）

（２）35 歳から 70 歳まで（壮年期）

（３）70 歳から 105 歳過ぎまで（充実期）

＊ 35 の倍数

４.「キャリア教育」のススメ

（１）「キャリア権」は、人間としての基本的人権

＊自分のキャリアは自分の力で形成することは基本的人権の 1 つ。企業や所属団体は一人ひとりのキャリア権を最大限に支援すべき

（２）①障害を持つ人

②外国出身の人

③女性

④高齢者

⑤一度仕事を離れた人

⑥養護施設の子どもたち

⑦貧困世帯の人

⑧病気を持つ人

⑨ひきこもっている人

⑩矯正施設にいる人たちも

（３）キャリア教育の場

①「高等教育機関」…コミュニティ・カレッジ

②学校図書館・公共図書館・私設図書館

③公民館

５．まずは、「読解力(読み解く力)」と「学習習慣」、「自己学習能力」

（１）「辞書」…「語彙力」「ことばは力」

（２）「新聞・雑誌」…「自分で考える力」「批判的思考能力(Critical Thinking)能力」

（３）「読書」…「思慮深さ」「自省心」「省察力」「高い志」

６．おわりに、「教育立国」への道

（１）「カリキュラム・カリキュラム・カリキュラム」

（２）「教師教育」「校長教育」「教育長教育」

①「学ぶ」とは、人生を何度も生きるために「学び続けること」

②「教育ある人とは、一生勉強し続ける人」

③「一生勉強、一生青春」

＊御参考:開倫塾の HP(www.kairin.co.jp)の塾長コーナー